

令和8年2月13日 予算記者会見資料

加古川市 令和8年度 予算案

一人一人が幸せを実感できるまちをめざして



加古川らしさを磨き、 魅力を高めるまちづくり

自然環境や地理的な特性を生かし、
市民の皆さんがまちを誇りに思えるよう、
「加古川ならではの魅力づくり」を
中長期的なまちづくりの方向性として掲げています。

身近な自然を活かした魅力づくり



産業誘致による雇用の創出



駅周辺のにぎわいづくり



時代の変化を見据え、 社会課題に挑戦する

人口減少や少子高齢化の進行、環境問題への対応など、社会課題が年々複雑化・多様化する中、本市では、引き続き地域の実情に応じた取組を着実に進めます。

スマートシティ・デジタル化の推進



カーボンニュートラル社会の実現

子育て世代・高齢者等への支援



令和7年度

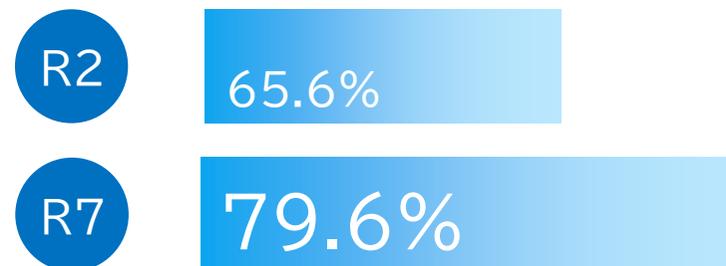
市民意識調査結果(速報値)

毎年度、47の施策に対する満足度や重要度、各種取組の認知度等を調査しています。

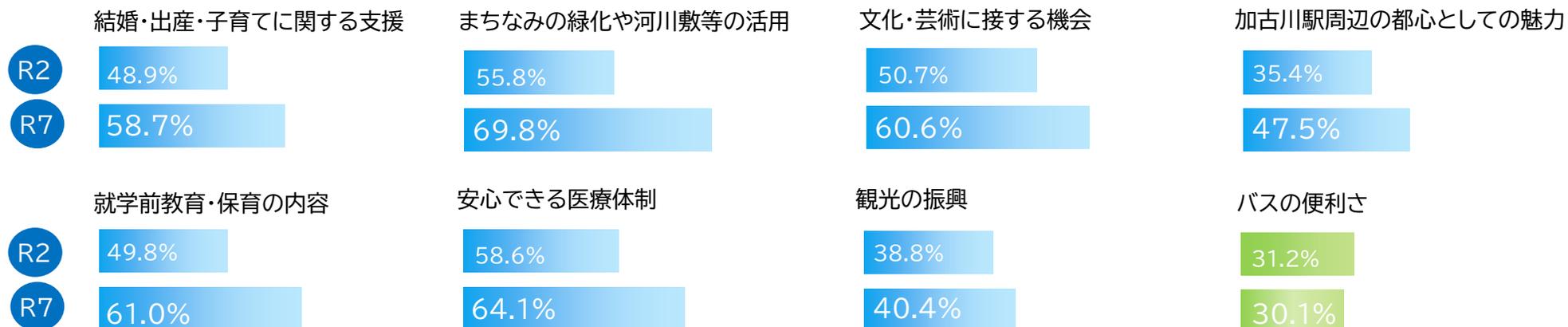
定住意向



愛着度



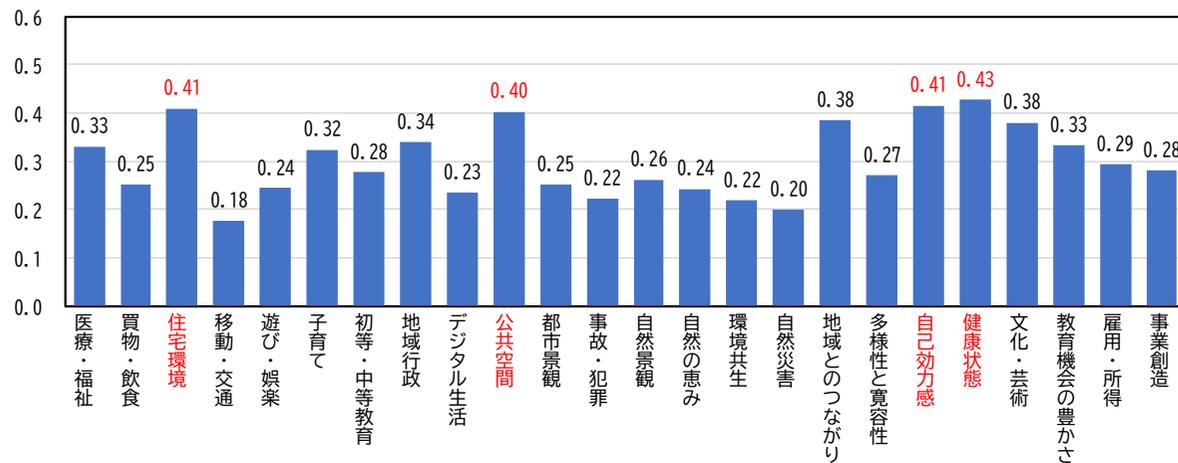
主な施策に対する満足度



幸福感(ウェルビーイング)を軸とした市政運営

幸福感と暮らしの関係をデータで捉え、施策に生かしています。

令和7年度 幸福感と関係の深い分野(相関分析)



○幸福感と特に関係の深い分野

- 「健康状態」 (0.43)
- 「自己効力感」 (0.41)
- 「住宅環境」 (0.41)
- 「公共空間」 (0.40)

○幸福感と関係のある分野

- 「地域とのつながり」 (0.38)
- 「文化・芸術」 (0.38)
- 「地域行政」 (0.34)
- 「医療・福祉」 (0.33)
- 「教育機会の豊かさ」 (0.33)
- 「子育て」 (0.32)

※カッコ内の数値は、幸福感との関係の強さを示しています。
(数値が大きいほど関係が強いことを表します。)

幸福感(ウェルビーイング)を軸とした市政運営

全国の都市と比べて加古川市の強みと課題を整理し、施策の方向性に反映しています

幸福感に関わる分野の強みと課題(全国比較)



○全国と比べて評価の高い分野

- ・「健康状態」 (76.9)
- ・「文化・芸術」 (61.0)
- ・「自己効力感」 (60.5)
- ・「住宅環境」 (60.2)
- ・「地域とのつながり」 (59.7)

○全国と比べて課題のある分野

- ・「多様性と寛容性」 (34.1)
- ・「都市景観」 (36.9)
- ・「事業創造」 (39.0)
- ・「自然景観」 (39.2)
- ・「雇用所得」 (39.4)

※カッコの数値は全国偏差値
(全国平均:50)

身近な自然を活かしたまちづくり

◆ かわまちづくり 267,085千円

「加古川市かわまちづくり計画」に基づき、引き続き加古川河川敷(河原地区)の整備工事をを行います。また、賑わい交流拠点の整備に向けた取組を進めます。

▶ 事業内容

- ①河川敷(河原地区)の整備工事
- ②市民向けのワークショップの開催

▶ 完成予定

令和10年4月

- ### ◆ 関連事業:協働のまちづくり推進事業
- 協働のまちづくり推進事業補助金のうち、河川敷を活用したかわまちづくりイベント
10,768千円



全体整備イメージ図



市民向けのワークショップ



かわまちづくりイベント

加古川らしさを磨き、魅力を高めるまちづくり

身近な自然を活かした魅力づくり

◆ 日岡山公園の再整備 182,210千円

公園施設の再整備工事に着手します。

▶ 整備内容

- ①大型複合遊具、乳・幼児用遊具
- ②噴水広場
- ③園路・広場(エントランス、メイン園路)
- ④休憩施設(シェルター、パーゴラ)
- ⑤ドッグラン

▶ オープン予定
令和11年4月



日岡山公園整備イメージ図

◆ 尾上公園の整備 220,528千円

令和10年度供用開始を目指し、尾上公園の先行整備区域の本体工事に着手します。

▶ 整備内容

- ①多目的広場
- ②園路・広場(エントランス)
- ③休憩施設(パーゴラ)
- ④駐車場

▶ オープン予定
令和10年度



尾上公園整備イメージ図

加古川らしさを磨き、魅力を高めるまちづくり

駅周辺のにぎわいづくり

JR加古川駅周辺において、立地特性を生かした再整備を進め、利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと魅力あふれるまちづくりを進めます。

◆ 加古川駅周辺の再整備 103,070千円

令和9年度までに、公共施設整備基本計画、駅前広場の基本設計等を含む再整備基本計画を策定します。

◆ 駅周辺公共空間の活用 8,223千円

駅南広場を活用したテストショップの展開、都市公園の利活用を拡大するための社会実験を実施します。

◆ 中心市街地の道路整備 471,088千円

防災道路の西伸に向け、道路詳細設計・用地買収・物件補償を進めます。



再整備後のイメージ図「再整備基本方針より抜粋(R7.8公表)」



ストリートファニチャー(令和7年度実施)

加古川らしさを磨き、魅力を高めるまちづくり

駅周辺のにぎわいづくり

◆ 東加古川駅周辺エリアの検討 10,727千円

総合文化センター本部棟、東棟、芝生広場等のリニューアルに向け、利用者や若い世代の意見も参考にしながら、基本計画を策定します。

◆ 別府駅周辺の整備 87,000千円

別府駅前広場の整備を行い、利用者の利便性を向上します。

◆ 日岡駅周辺の整備 98,000千円

日岡駅舎横にトイレ、待合スペース、駐輪所等を整備します。



別府駅前広場整備イメージ図



日岡駅周辺整備イメージ図

加古川らしさを磨き、魅力を高めるまちづくり

産業誘致による雇用の創出

東播磨地域は、産業用地としてのニーズが非常に高い地域です。旧公設地方卸売市場跡地や志方中央地区への企業誘致を通じて、新たな雇用の創出と地域経済の持続的な発展を目指します。

◆ 市有地の売却

産業用地として旧公設地方卸売市場跡地を売却します。

◆ 産業用地の創出 52,700千円

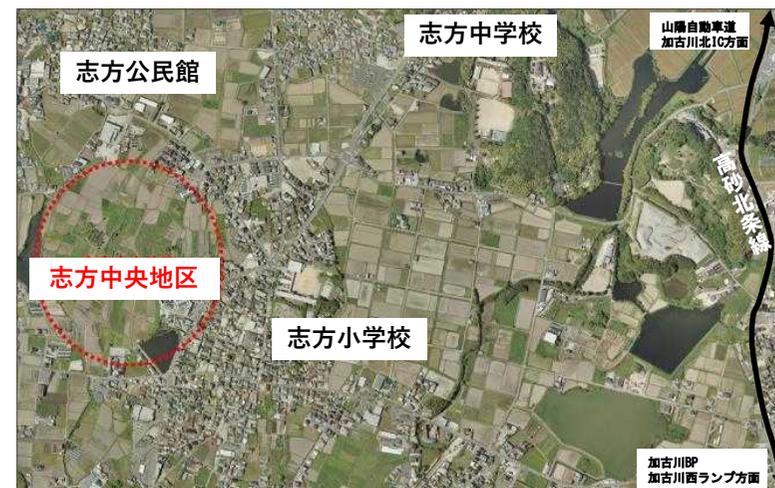
志方中央地区において産業用地を創出するため、測量や事業計画書の策定を行います。

◆ 企業への支援 30,520千円

企業の固定資産への投資や新規雇用に対して、補助金を交付します。



解体前の旧公設地方卸売市場



志方中央地区位置図

加古川らしさを磨き、魅力を高めるまちづくり

産業誘致による雇用の創出

◆ 神吉中津線道路改良事業

加古川橋梁上部工事等の道路整備工事を進めます。

1,174,200千円
継続費5,200,000千円(R7~10)
継続費424,000千円(R8~9)

▶ 橋梁名：鹿児之橋（かこのはし）

加古川の地名の由来となった言葉である「鹿児」を採用し、「鹿児之橋」としました。

奈良時代に書かれた「播磨国風土記」によると、天皇がこの地を訪れた際、広がる丘や平野を見て「この丘は鹿児(鹿の子)のようだ」と述べ、これが「賀古郡(かこのこおり)」という地名の起源とされています。

日岡という地名も、一匹の鹿が「ヒー」と鳴いて丘へ登ったことから名付けられたとされています。

▶ 供用開始予定：令和13年上半期

▶ 橋梁のデザイン

平成29年度と令和6年度にデザイン委員会を開催して、桁の色(黄緑色ベース)や、道路照明、高欄、親柱、歩道舗装(平板ブロック舗装)などを決定しました。



イメージパース(南から望む)



高欄イメージ



親柱・歩道部イメージ

時代の変化を見据え、社会課題に挑戦

スマートシティ・デジタル化の推進

デジタル技術の活用を活用することで、市民の安全・安心や利便性の向上、行政サービスの質の向上と職員の業務効率化を図ります。

◆ 被災者支援システムの導入 6,975千円

災害時に被災者情報や支援状況を正確かつ効率的に把握し、迅速で公平な支援を行うため被災者支援システムを導入します。

◆ 生成AIの活用 2,640千円

内部文書の検索・整理や文書作成、情報収集等の業務支援を行う生成AIサービスを導入し、職員の負担を軽減することで、行政サービスの質の向上を図ります。

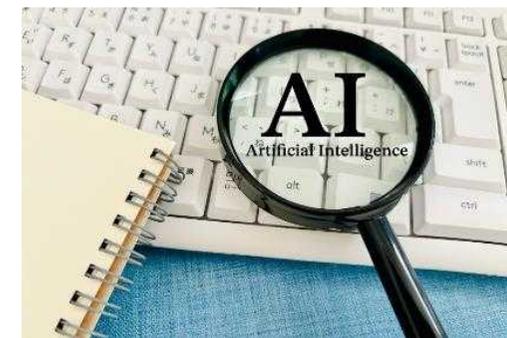
◆ 道路台帳の電子化 88,000千円

道路台帳を電子化し、数値情報を内包した高精度な平面図を公開することで、市道沿道の利活用において、正確で信頼性の高い道路情報の提供を図ります。

被災者生活再建支援システム



システムイメージ



時代の変化を見据え、社会課題に挑戦

カーボンニュートラル社会の実現

地球温暖化をはじめとする環境問題に対して、市として主体的かつ継続的に取り組んでいきます。

家庭用蓄電池の設置補助 17,500千円

太陽光パネル設置後10年経過した家庭の蓄電池設置に補助することで、市域で排出される温室効果ガスを削減します。

あなたのエコ暮らし応援事業 32,645千円

省エネ性能の高い給湯器への買替費用を補助することで、家庭から排出される温室効果ガスを削減します。

木質バイオマスボイラーの導入 3,250千円

環境美化センターの重油ボイラーを更新することで、公共施設の脱炭素化を推進します。

とうばんクリーンエネルギー(株)による電力地産地消

「エコクリーンピアはりま」で発電した電力を公共施設で活用し、地域でのエネルギー循環を推進します。



時代の変化を見据え、社会課題に挑戦

子育て世代等への支援

未来を担う子どもや若者、高齢者をはじめ、すべての世代が安心して暮らし続けられるよう取り組んでいきます。

新 産婦健康診査の実施 15,741千円

産後うつ等の予防を図るため、出産後まもない産婦に対し、健康診査を実施します。

新 こども誰でも通園制度の実施 17,892千円

6か月から満3歳未満の未就園児が、誰でも認可保育施設を一定時間利用できる制度を実施します。

◆ 小学校給食費の負担軽減 734,287千円

国の交付金を活用し、令和8年度の小学校給食において、保護者負担が生じないようにします。



時代の変化を見据え、社会課題に挑戦

子育て世代等への支援

- ◆ **保育園・こども園での主食提供開始** 6,781千円
9月から公立保育園及び認定こども園(改修工事中の園は除く)において、主食(米飯)の提供を実施することで、保護者の負担を軽減します。
- ◆ **かこ☆くら(地域クラブ)の支援** 68,811千円
かこ☆くらへの円滑な地域展開を図るため、体験会の開催、活動場所となる学校の環境整備及び地域クラブの立ち上げを支援する補助金を創設します。
- ◆ **学びの多様化学校の建設** 6,332千円 継続費469,000千円(R8~9)
令和10年4月開校に向けて、不登校の期間に学習できなかった内容を学び直したいと希望するこどもを対象とした「学びの多様化学校」の新築工事を行います。
- ◆ **医療的ケア児を対象とした福祉タクシーの拡充** 13,558千円
加古川養護学校の医療的ケア児を対象とした福祉タクシーについて、登校時2台に増便するとともに2名乗車に対応することで利用回数の拡充を図ります。



フレイル状態の高齢者への支援

新 元の生活を取り戻せる仕組みの構築 5,940千円

▶ 短期集中予防サービスの導入

高齢や病気、ケガなどで日常生活がしづらくなった高齢者を元の生活ができる状態に戻す短期集中予防サービスの導入に向けて、モデル事業を実施します。

①モデル事業の実施

- ・市内2カ所で実施(10名×2カ所)
- ・通所型を想定
- ・自分で、自宅に取り組める内容をリハビリ専門職等が指導
- ・期間は約3カ月間(週1回計12回)
- ・7~9月に実施予定

②導入支援事業者への委託

- ・モデル事業に携わる関係者への説明
- ・プログラムを実施する専門職等への研修
- ・本格実施(令和9年度)に向けたモデル事業の結果評価
- ・本格実施(令和9年度)に向けたサービス提供候補事業所の選定



その他の取り組み

◆ 新 物価高騰への対応 587,918千円 R7⇒R8明許繰越

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、キャッシュレス決済事業者と連携したポイント還元キャンペーンを実施します。

◆ 音楽のまちづくり事業 11,899千円

新たに駅前や小学校での出前コンサートなどの「音楽お届け便」、「みんなで楽しむ合奏会」などを実施し、気軽に音楽を楽しめる機会を提供します。

◆ 新 松風ギャラリーリニューアル事業 1,464千円

松風ギャラリーリニューアルに合わせて、施設の再開を広く周知するとともに、市民が文化芸術に親しむ機会としてリニューアルコンサートを開催します。

◆ ウェルネスパークの改修工事 207,943千円
継続費459,930千円(R8~9)

経年劣化した施設を安全に利用するための改修工事を行います。

◆ 日岡山市民プールの改修工事 17,346千円
継続費1,026,080千円(R8~9)

経年劣化した施設を安全に利用するための改修工事を行います。



その他の取り組み

- ◆ 新 加古川西公民館の建替え 33,364千円**
施設の老朽化を解消するとともに、一部機能の改善を図るため、加古川西公民館の建替えに向けた基本設計等を実施します。
- ◆ 斎場の改修に向けて 90,028千円**
火葬炉の入替及び長寿命化のための改修に向けて、実施設計等を実施します。
- ◆ 新 加古川歯科保健センターの中規模改修に向けて 17,660千円**
麻酔下の歯科治療を行う独立した治療室の設置を含めた中規模改修工事に向けて、実施設計を行います。
- ◆ 新 不法投棄対策支援 1,000千円**
個人や町内会等が所有する土地に不法に投棄された廃棄物の処理に要する経費の一部を補助します。
- ◆ シティプロモーションの推進 27,580千円**
加古川市まちの魅力発信キャラクター「かこのちゃん」に、表情や動きを加えた動画で市の施策をPRしたり、新たなラッピングバスを追加することで、本市のブランドイメージ向上とシビックプライドの醸成を図ります。

